



## 平成19年11月期 第3四半期財務・業績の概況

平成19年10月15日

上場会社名 北興化学工業株式会社

コード番号 4992

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 丸山 孝雄

問合せ先責任者 役職名 経理部長 氏名 渡辺 英夫

上場取引所 東証一部

URL <http://www.hokkochem.co.jp/>

TEL (03) 3279 - 5152

(金額表示：百万円未満四捨五入)

1. 平成19年11月期第3四半期の連結業績(平成18年12月1日～平成19年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年11月期第3四半期	33,302	5.2	430	45.9	270	111.5	145	-
18年11月期第3四半期	31,646	1.1	295	46.2	128	76.8	13	94.1
18年11月期	42,896		366		264		540	

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年11月期第3四半期	5	25	-	-
18年11月期第3四半期	0	45	-	-
18年11月期	19	53	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり 純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
19年11月期第3四半期	41,846		16,172		38.6	584	98	
18年11月期第3四半期	41,442		16,914		40.8	611	38	
18年11月期	44,378		16,200		36.5	585	65	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
19年11月期第3四半期	1,101		763		809		934	
18年11月期第3四半期	2,200		852		2,592		858	
18年11月期	578		1,129		1,799		1,411	

## 2. 配当の状況

当社は四半期配当制度を採用しておりません。

## 3. 平成19年11月期の連結業績予想(平成18年12月1日～平成19年11月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	45,200	5.4	510	39.2	500	90.0	650	-	23	51

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

[ (注) 詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。 ]

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループの第3四半期までの販売は、農薬製品の国内販売では、水稻除草剤の販売が伸長したものの、ポジティブリスト制度の影響を受け水稻の殺菌剤、殺虫殺菌混合剤の販売が落ち込み、売上高は前年同期並みとなりました。受託製造販売の売上高は前年同期を下回りました。一方、東南アジア、中南米への農薬輸出が伸長したことにより、農薬製品全体としては、売上高は前年同期を若干上回りました。また家庭園芸用農薬の販売は低迷しています。

農薬以外のファインケミカル製品では、堅調な需要に積極的に対応し、拡販に努めた結果、電子材料関連原料、樹脂添加剤、防汚剤、自動車排ガス浄化用触媒原料などの販売が伸長しました。

この結果、全体の売上高は333億2百万円（前年同期比16億5千7百万円の増）となりました。

また、利益面では、資材の値上りが止まらず原材料コストの増加が続くとともに、中国における輸出増徴税還付率の引き下げの影響が予想外に大きく、販売費及び一般管理費の抑制に努めましたが、営業利益は4億3千万円（前年同期比1億3千5百万円の増）、経常利益は2億7千万円（前年同期比1億4千2百万円の増）と伸び悩みました。四半期純利益は1億4千5百万円（前年同期比1億3千3百万円の増）となりました。

なお、四半期決算においては従来、製造間接固定費の実際操業度における予定配賦額と実績額の差により生ずる操業度差異（有利差異）を繰延処理しておりましたが、当第3四半期から売上原価に算入しております。前期の第3四半期決算において繰延処理した操業度差異（有利差異）は連結ベースで1億1千4百万円であり、これを売上原価に算入した場合の前年同期の営業利益、経常利益の各利益額はそれぞれ1億1千4百万円増加し、当第3四半期の営業利益は前年同期比2千1百万円の増加、同経常利益は前年同期比2千8百万円の増加となります。また前年同期の第3四半期純利益は6千8百万円増加し、当第3四半期の純利益は前年同期比6千4百万円の増加となります。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (1) 財政状態の変動状況

当第3四半期末における総資産の残高は418億4千6百万円となり前期末比25億3千2百万円の減少となりました。これは受取手形及び売掛金が前期末比23億9千8百万円減少したことが主な要因です。

負債の残高は256億7千5百万円となり前期末比25億3百万円の減少となりました。これは未払費用が前期末比16億1千3百万円、支払手形及び買掛金が前期末比5億2千5百万円それぞれ減少したことなどが主な要因です。

純資産の残高は161億7千2百万円となり前期末比29百万円減少となりました。

## (2) キャッシュ・フローの状況

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期は11億1百万円の収入超過（前年同期は22億円の支出超過）となりました。これは未払費用の減少が16億3千8百万円ありましたが、一方で売上債権の減少が23億9千9百万円あったことが主な要因です。前年同期比では、主としてたな卸資産増加額の圧縮11億4千8百万円、仕入債務の減少額が10億6千1百万円縮小したことなどにより33億1百万円の増加となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期は7億6千3百万円の支出超過（前年同期比10.4%減）となりました。これは投資有価証券の売却による収入2億5千2百万円はありましたが、工場の設備投資による支出9億2千5百万円によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期は8億9百万円の支出超過（前年同期は25億9千2百万円の収入超過）となりました。これは営業活動によるキャッシュ・フローの収入超過に伴う借入金の減少5億5千2百万円や配当金の支払2億5千万円などによるものです。

## (現金及び現金同等物の期末残高)

以上の結果、当第3四半期の現金及び現金同等物は前期末比4億7千7百万円減少し9億3千4百万円（前年同期比8.8%増）となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、第3四半期の業績を踏まえ、前回予想（平成19年9月26日開示）を一部修正いたします。

## (1) 平成19年11月期通期連結業績予想数値の修正（平成18年12月1日～平成19年11月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	45,200	640	700	810	29 29
今回修正予想 (B)	45,200	510	500	650	23 51
増減額 (B - A)	-	130	200	160	-
増減率 (%)	-	20.3	28.6	19.8	-

## (2) 修正の理由

円高による為替差損が見込まれること、ならびに国内・国外連結子会社の売上原価が前回予想より増加するため、当期連結業績予想を修正いたします。

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

## (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

税金費用及び引当金の計上基準等に一部簡便的な方法を採用しております。

なお、四半期決算においては従来、簡便な方法のひとつとして通期決算においては解消されるものとして操業度差異（有利差異）を繰延処理しておりましたが、当期はこの差異が販売、生産の増加により通期決算においても解消されないことが明らかとなったため、当第3四半期から売上原価に算入しております。前年同期の操業度差異（有利差異）を売上原価に算入した場合の影響額については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】1. 連結経営成績に関する定性的情報をご覧ください。

## (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

## 5. (要約) 四半期連結財務諸表

## (1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円未満四捨五入)

期 別 科 目	前年同四半期末 (平成18年11月期 第3四半期末)		当四半期末 (平成19年11月期 第3四半期末)		増 減 ( は減 )	(参考) 前期末 平成18年11月期末	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
(資産の部)		%		%			%
流 動 資 産	28,341	68.4	28,359	67.8	18	30,935	69.7
現金及び預金	858		949		91	1,411	
受取手形及び売掛金	11,834		11,794		41	14,192	
たな卸資産	15,013		15,234		221	14,676	
その他	635		382		254	655	
固 定 資 産	13,101	31.6	13,488	32.2	387	13,443	30.3
有形固定資産	7,199		7,388		190	7,243	
建物及び構築物	2,581		2,809		228	2,761	
機械装置及び運搬具	3,256		3,293		37	3,254	
土地	827		825		2	828	
その他	535		462		72	398	
無形固定資産	610		632		22	602	
投資その他の資産	5,292		5,467		175	5,598	
投資有価証券	4,601		4,224		377	4,329	
その他	691		1,243		552	1,270	
資 産 合 計	41,442	100.0	41,846	100.0	405	44,378	100.0

(単位：百万円未満四捨五入)

期 別 科 目	前年同四半期末 (平成18年11月期 第3四半期末)		当四半期末 (平成19年11月期 第3四半期末)		増 減 ( は減 )	(参考)前期末 平成18年11月期末	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
(負債の部)		%					%
流動負債	19,629	47.4	17,356	41.5	2,273	22,496	50.7
支払手形及び買掛金	6,464		7,281		817	7,806	
短期借入金	8,936		5,045		3,892	8,279	
1年以内長期借入金	391		307		84	497	
未払法人税等	24		180		156	54	
未払費用	2,263		2,376		112	3,988	
賞与引当金	291		303		12	-	
その他	1,258		1,863		605	1,872	
固定負債	4,899	11.8	8,319	19.9	3,420	5,682	12.8
長期借入金	1,398		4,107		2,709	1,197	
退職給付引当金	3,262		3,153		109	3,214	
役員退職慰労引当金	129		131		1	141	
環境整備費引当金	-		829		829	1,020	
その他	111		100		11	111	
負債合計	24,528	59.2	25,675	61.4	1,146	28,178	63.5
(純資産の部)							
株主資本	15,463	37.3	14,771	35.3	693	14,909	33.6
資本金	3,214		3,214		-	3,214	
資本剰余金	2,608		2,608		0	2,608	
利益剰余金	10,611		9,927		684	10,058	
自己株式	970		979		8	971	
評価・換算差額等	1,450	3.5	1,401	3.3	49	1,291	2.9
その他有価証券評価差額金	1,479		1,410		69	1,317	
為替換算調整勘定	29		9		20	26	
純資産合計	16,914	40.8	16,172	38.6	742	16,200	36.5
負債及び純資産合計	41,442	100.0	41,846	100.0	405	44,378	100.0

## (2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円未満四捨五入)

期 別 科 目	前年同四半期 (平成18年11月期 第3四半期)		当四半期 (平成19年11月期 第3四半期)		増 減 ( は減 )	(参考)前期 平成18年11月期	
	金 額	百分比	金 額	百分比		金 額	百分比
売 上 高	31,646	100.0	33,302	100.0	1,657	42,896	100.0
売 上 原 価	24,857	78.5	26,386	79.2	1,529	33,653	78.5
売 上 総 利 益	6,788	21.5	6,916	20.8	128	9,243	21.5
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	6,494	20.5	6,486	19.5	8	8,877	20.6
営 業 利 益	295	0.9	430	1.3	135	366	0.9
営 業 外 収 益	256	0.8	277	0.8	21	595	1.3
受 取 利 息 及 び 配 当 金	97		111		13	110	
そ の 他	158		166		8	485	
営 業 外 費 用	423	1.3	436	1.3	14	698	1.6
支 払 利 息	121		169		48	166	
そ の 他	301		267		34	532	
経 常 利 益	128	0.4	270	0.8	142	264	0.6
特 別 利 益	9	0.0	51	0.2	41	23	0.1
特 別 損 失	55	0.2	44	0.1	11	1,107	2.6
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益 又 は 税 金 等 調 整 前 当 期 純 損 失 ( )	82	0.3	277	0.8	195	820	1.9
税 金 費 用	70	0.2	132	0.4	62	280	0.6
四 半 期 純 利 益 又 は 当 期 純 損 失 ( )	13	0.0	145	0.4	133	540	1.3

## (3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円未満四捨五入)

期 別 科 目	前年同四半期 (平成18年11月期 第3四半期)	当四半期 (平成19年11月期 第3四半期)	(参考) 前期 平成18年11月期
	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー -			
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前当期純損失( )	82	277	820
減 価 償 却 費	878	919	1,205
退職給付引当金の減少額	73	61	121
役員退職慰労引当金の減少額	46	10	35
賞与引当金の増加額	272	303	-
貸倒引当金の増減額	1	1	0
環境整備費引当金の増減額	-	191	1,020
受取利息及び受取配当金	97	111	110
支 払 利 息	121	169	166
固 定 資 産 処 分 損	55	44	87
売上債権の減少額	2,501	2,399	144
たな卸資産の増加額	1,701	553	1,363
仕入債務の減少額	1,496	435	245
未払費用の減少額	1,797	1,638	43
そ の 他	381	147	330
小 計	1,680	967	213
利息及び配当金の受取額	92	111	110
利息の支払額	119	143	207
法人税等の支払額	493	118	694
法人税等の還付額	-	284	-
営業活動によるキャッシュ・フロー -	2,200	1,101	578
投資活動によるキャッシュ・フロー -			
投資有価証券の売却による収入	-	252	-
有形固定資産の取得による支出	696	925	960
無形固定資産の取得による支出	134	110	153
そ の 他	22	19	16
投資活動によるキャッシュ・フロー -	852	763	1,129
財務活動によるキャッシュ・フロー -			
短期借入金の増減額	2,848	3,251	2,187
長期借入れによる収入	300	3,000	300
長期借入金の返済による支出	302	302	404
配当金の支払額	248	250	277
そ の 他	6	7	7
財務活動によるキャッシュ・フロー -	2,592	809	1,799
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	6	8
現金及び現金同等物の増減額	469	477	84
現金及び現金同等物の期首残高	1,328	1,411	1,328
現金及び現金同等物の期末残高	858	934	1,411